

イオンファンタジー、2Q純利益は前期比36.8%増 遊戯機械売上が24ヶ月連続で伸長

2017年10月4日に行われた、株式会社イオンファンタジー2018年2月期第2四半期決算説明会の内容を書き起こしでお伝えします。

2018年2月期第2四半期連結累計期間の業績

2018年2月期第2四半期連結累計期間の業績

- 売上高は**過去最高**。前年同期比10.3%の増収。
- 営業利益、経常利益は2007年2月期以来**11年ぶりの過去最高**。
- 四半期純利益も大幅増益。

2018年2月期第2四半期累計期間（2017年3月1日～2017年8月31日） （単位：百万円）

	2017/2期 第2四半期 累計期間	2018/2期 第2四半期 累計期間	前期比 増減率
売上高	32,404	35,742	+10.3%
売上総利益	3,762	4,997	+32.8%
営業利益	1,694	2,545	+50.3%
経常利益	1,561	2,301	+47.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	805	1,101	+36.8%
1株当たり四半期純利益	40.88円	55.90円	15.02円増



株式会社イオンファンタジー

7

片岡尚氏：みなさん、本日はありがとうございます。それでは2018年2月期第2四半期の決算について説明させていただきます。

2018年2月期第2四半期連結累計期間の決算の説明です。まずこの半年間の業績でございますが、売上高は過去最高となりました。357億4,200万円で、前期（2017年2月期第2四半期）から10.3パーセントの増加。

営業利益・経常利益は2007年の2月期以来、同期間では11年ぶりの過去最高となりました。営業利益は25億4,500万円、前期から50.3パーセント増。経常利益は23億100万円、前期から47.4パーセント増となりました。

また親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましても、前期から36.8パーセント増の11億100万円となっております。


セグメント情報

セグメント情報

(単位：百万円)

	国内	海外		計	連結調整	連結計
		中国	アセアン			
売上高	29,708 (+8.0%)	4,184 (+23.3%)	2,029 (+33.7%)	6,214 (+26.5%)	△179 (-)	35,742 (+10.3%)
営業利益	2,468 (+704)	128 (+121)	△49 (+27)	79 (+149)	△2 (△2)	2,545 (+851)

売上高 () 内は前年同期比増減率
営業利益 () 内は前年同期増減額

 株式会社イオンファンタジー

8

次に、セグメント別の情報でございます。まず、国内は297億円の売上高で、前年から8パーセント増。

営業利益は24億6,800万円で、前年から7億400万円の増益となっております。

また海外につきましても、今年から中国・アセアンをしっかりと分けて開示しております。中国の売上高は41億8,400万円、前期から23.3パーセント増。営業利益は1億2,800万円、前期から1億2,100万円の増となっております。

またアセアンは、売上高が20億2,900万円、前期から33.7パーセントの増。

営業利益は4,900万円の赤字でございますが、前期からは2,700万円改善しております。

海外トータルでは（売上高は）62億1,400万円で、26.5パーセント増。

営業利益は7,900万円で、前期と比べて1億4,900万円プラス。去年は赤字でしたので、今年大きく黒字転換したというかたちになっております。以上が、内訳でございます。

トピックス

トピックス

連結業績の 増収・増益	売上高は同期間では過去最高。 営業利益、経常利益は、いずれも同期間では2007年 2月期以来11年ぶりの過去最高。 親会社株主に帰属する四半期純利益は計画を大きく上回 る推移。
新会員制度 「モーリーフレンズ」 のスタート	従来の3つの会員制度を統合し、利便性やサービスを向上 させた新会員制度「モーリーフレンズ」をスタート。 会員数は順調に増加。
新業態 「にこはびきっず」 をオープン	NHK Eテレの人気幼児番組をテーマとした、遊びと学び のキッズエデュテイメント施設「にこはびきっず NHK キャラクターとあそぼう」を、東武百貨店池袋本店に7月 13日オープン。

この半年間のトピックスといたしましては、3点挙げております。

1点目が、連結業績の増収・増益。先ほど申し上げたとおり、とくに営業利益・経常利益におきましては、2007年2月期以来11年ぶりの過去最高となっております。

2点目が、新会員制度「モーリーフレンズ」をスタートさせたことです。従来の3つの会員制度を統合しまして、利便性やサービスを向上させた新会員制度「モーリーフレンズ」というものを、今年から始めております。

これは会員数が順調に増加しておりまして、これも業績好調の大きな1つの要因ではないかと考えております。

また3点目が、新しいチャレンジとしまして、新業態「にこはびきっず」をスタートさせました。これはNHK Eテレの人気幼児番組をテーマとした、遊びと学びのキッズエデュテイメント施設でございます。この1号店を（2017年）7月に、東武百貨店池袋本店にオープンしております。

営業利益 要因別増減分析

営業利益 要因別増減分析



株式会社イオンファンタジー

続きまして、営業利益の要因別増減分析でございます。

グラフのいちばん左の16億9,400万円は、去年（2017年2月期）の第2四半期累計の営業利益でございます。今期（2018年2月期）はいちばん右のグラフの、25億4,500万円です。

上がった理由が、まず国内の売上増として約7億円分が、営業利益に貢献したということであります。

一方、新規事業等政策費用が、去年と比べて1億5,600万円多かったです。これがマイナス要素でございます。

また、ずっと続けております国内コスト削減の取り組みが、1億5,900万円貢献しております。そして、海外損益が約1億5,000万円分改善しております。

この結果、営業利益が25億4,500万円となっております。

連結貸借対照表

連結貸借対照表

2018年2月期第2四半期末（2017年8月31日現在）

（単位：百万円）

	2017/2期末		2017/8期末		期首に 対する 増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	11,259	26.0%	12,763	26.5%	+1,504
固定資産	32,069	74.0%	35,468	73.5%	+3,399
資産合計	43,328	100.0%	48,232	100.0%	+4,903
流動負債	11,000	25.4%	14,876	30.8%	+3,875
固定負債	6,707	15.5%	6,611	13.7%	△96
負債合計	17,708	40.9%	21,487	44.6%	+3,778
純資産合計	25,619	59.1%	26,744	55.4%	+1,124
負債純資産合計	43,328	100.0%	48,232	100.0%	+4,903

こちらは、連結貸借対照表でございます。出店を加速させていることによりまして、固定資産が増えていております。


連結キャッシュフロー計算書

連結キャッシュフロー計算書

2018年2月期第2四半期（2017年3月1日～2017年8月31日）

(単位：百万円)

	2017/2期 第2四半期	2018/2期 第2四半期	前期比増減
営業活動によるキャッシュフロー	4,204	3,980	△223
税金等調整前四半期純利益	1,492	2,056	+564
減価償却費	3,227	3,488	+260
法人税等の支払額	△67	△990	△923
投資活動によるキャッシュフロー	△4,746	△4,645	+101
有形固定資産の取得による支出	△4,709	△4,966	△257
財務活動によるキャッシュフロー	1,452	△35	△1,488
借入による純増減額	1,752	302	△1,450
配当金の支払額	△295	△315	△20
現金及び現金同等物の増減額	790	△730	△1,520
現金及び現金同等物の期首残高	3,724	6,442	+2,717
現金及び現金同等物の期末残高	4,514	5,711	+1,196

 株式会社イオンファンタジー

12

こちらは、連結キャッシュフロー計算書でございます。

店舗数の状況（2017年8月末日現在）

店舗数の状況（2017年8月末日現在）

	Mollyfantasy	kidzooona	その他	計
日本	425	5	40 (2)	470 (2)
中国	129 (4)	39	8	176 (4)
マレーシア	47	24	7	78
タイ	24	20	1	45
フィリピン	0	31	0	31
インドネシア	1	8	0	9
ベトナム	4 (4)	4 (4)	1 (1)	9 (9)
カンボジア	1 (1)	1 (1)	0	2 (2)
海外計	206 (9)	127 (5)	17 (1)	350 (15)
合計	631 (9)	132 (5)	57 (3)	820 (17)

注：（ ）内数値は内数で、FC等（フランチャイズ契約、業務委託契約、ライセンス契約を中心）の店舗数です。



株式会社イオンファンタジー

こちらは、店舗数の状況でございます。2017年8月末日現在の数字で、日本国内が470店舗、海外が350店舗。トータルは820店舗となっています。

新規出店

新規出店

■ 第2四半期累計期間での新規出店は33店舗。



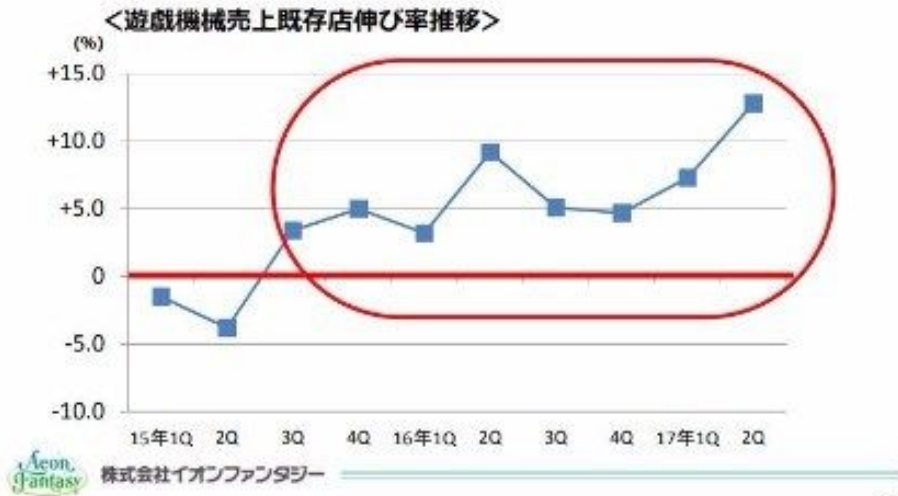
15

この半年間で、新規出店は33店舗でございました。年間の推定では90店舗になる見込みでございます。当初掲げていた数字より、若干出店数は下方修正しておりますが、前年に比べて1割多い90店舗の出店を実行する予定でございます。

国内 遊戯機械売上の伸長

国内 遊戯機械売上の伸長

- 遊戯機械売上既存店伸び率は2015年9月より24ヶ月連続でプラスとなり好調を維持。(当第2四半期会計期間既存店伸び率+12.8%)



16

次は、国内の遊戯機械売上の伸びでございます。弊社の売上は遊戯機械売上、つまりゲームからくる売上と物販売上に分かれておりまして、この遊戯機械売上が売上の大半を占めております。

この遊戯機械売上が2015年9月からプラスに転じました。これは、ずっと24ヶ月連続で前年より伸びている状態になっております。直近で見ますと、さらにその伸びが大きくなります。直近の3ヶ月間、当第2四半期化会計期間では、前年と比べて12.8パーセントの伸び率になっております。

当社オリジナル景品の展開強化

当社オリジナル景品の展開強化

■他社とのコラボによる当社オリジナル景品の展開強化。

ミニストップとのコラボによる
『ソフトクリームスクイーズ』



映画とのタイアップによる
『HiGH & LOWグッズ』



小学館とのコラボによる
『コロコロコミッククッション』



Aeon
Fantasy 株式会社イオンファンタジー

17

それでは、なぜそれ（遊戯機械売上の既存店伸び率）が良かったのかを、ここからご説明します。1つ大きく貢献したものが、当社オリジナル景品の展開の強化でございます。クレーンゲームの中に入れる景品でございますが、これが当社の「モーリーファンタジー」に来ないと手に入らないような景品です。こういったものを1から開発しまして、SNSで拡散していく。こういった戦略を取っております。

例えばということで、資料に3つほど挙げさせていただいております。

同じグループのミニストップ株式会社とコラボして、「ソフトクリームスクイーズ」。スクイーズというのは、手でぶにゆぶにゆする景品ですけれども。これが大変今、世の中で流行っています。これの、ミニストップのソフトクリーム版というものを作って投入しました。これは、大変よく売れました。

あと、映画とのタイアップです。三代目J Soul Brothers等が出演している『HiGH & LOW』という映画が、大変ヒットいたしました。この景品を1から作って、これを『HiGH & LOW』が上映されているイオンシネマの、予告に入れました。

「『モーリーファンタジー』で、特別にこういう景品がありますよ」というような宣伝をして、映画を見に来てくれたお客さんが、そのままショッピングセンターの中の「モーリーファンタジー」で、これを取りに来てくれるということです。

それを、その人たちが写真を撮ってSNSに上げて、拡散する。こういうような流れを作ることができました。このSNSでの拡散というのは、すごく大きなキーワードです。

YouTubeを活用した動画プロモーション

YouTube を活用した動画プロモーション

- 当社オリジナル景品紹介などモーリーファンタジー関連動画の累計再生回数 4,000万回超。(17年8月現在)



18

とくに力を入れて取り組んでおりますのが、YouTubeを活用したプロモーションでございます。

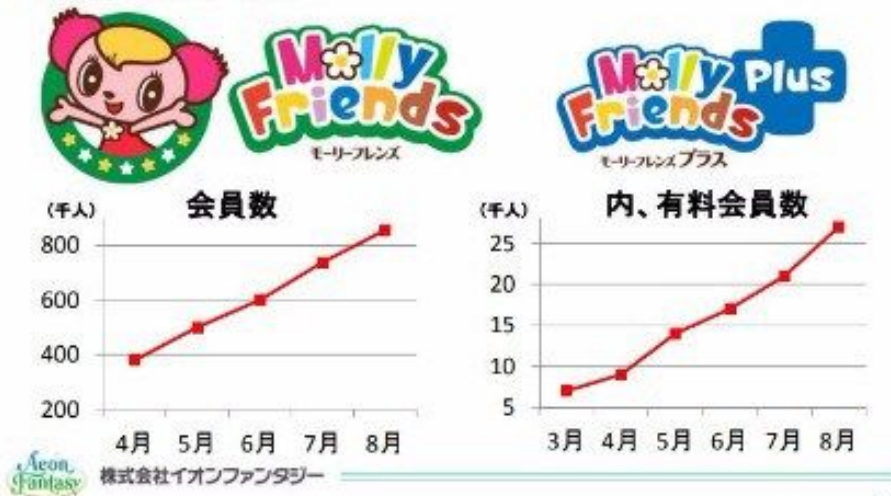
いわゆる子どもYouTuberのみなさんに「モーリーファンタジー」で遊んでいただき、それを（YouTubeに）上げていただくような取り組みをしております。これが累計の再生回数で、もう4,000万回超、「モーリーファンタジー」についてYouTubeで再生されている状況をつくっています。

この再生回数は、毎月毎月伸びていっております。これが1つ、今の時代に合った大きな販促として、効いてきたのかなと思っております。

新会員制度「モーリーフレンズ」のスタート

新会員制度「モーリーフレンズ」のスタート

- 従来の3つの会員制度を統合し、利便性やサービスを向上させた新会員制度「モーリーフレンズ」をスタート。
- 会員数が順調に増加。



19

また、先ほどトピックスでも挙げさせていただきましたが、新会員制度を今年（2017年）発足させました。「モーリーフレンズ」という名前で、今まで3つあった会員制度を、これ1つに統合したわけです。

順調に会員数が伸びております。その中で一部、有料会員さまを募集しております。月額800円お支払いいただくと、さらに特別なサービスが受けられるという会員制度なのですが、こちらも順調に会員数が伸びておりまして、売上にも貢献してきております。

新しい遊び方提案『よくばりパス』

新しい遊び方提案『よくばりパス』

- 従来の「1回100円」モデルから「30分500円」「60分1000円」遊び放題という新しい遊びの選択肢を提案。99店舗に導入完了。
- 97.1%のお客さまが「お値打ち、家族みんなで遊べてよい」等満足されているご感想。（お客さまへのアンケートより）



また新しい遊び方の提案で、「よくばりパス」というものを出しております。こちらは報道等でもかなり取り上げていただきまして、テレビ等でも紹介されました。今までのアミューズメント施設というのは、100円玉を入れて1回遊ぶというビジネスでした。これを30分500円といった時間制にしたいと思うと、物理的に柵で囲んで、入り口でお金をいただくしかやりようがありませんでした。しかし、ゲーム機にICカードとそれを読み取るICリーダーを取り付けることによって、仕組みとして、1回100円で遊びたい人は今までどおり1回100円で遊べるし、30分500円（の時間制で）遊びたい人は（ICカードを使って）そのような遊び方もできる。このような提案をしております。こちらを全国99店舗に導入いたしまして、お客さまに大変喜んでいただいている状態でございます。

24店舗の活性化を実施

24店舗の活性化を実施

- 「モーリーファンタジー」の内装と品揃えを一新する大型の活性化を22店舗実施。
- 来店客層に合わせ、「モーリーファンタジー」から「PALO」への業態変更を2店舗実施。



活性化実施店舗の
昨年比

実施前 101.8%



実施後 110.8%

+9.0ポイントの
効果

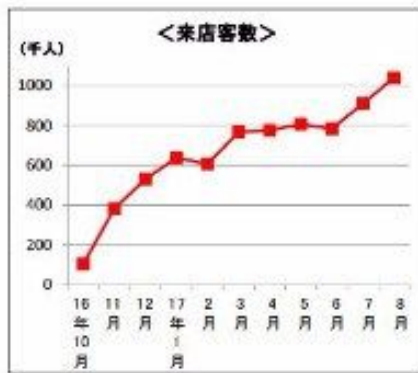
また、この半年間の業績への貢献という意味では、店舗の活性化も大きいと思います。24店舗で大きな活性化を実施いたしました。（「モーリーファンタジー」の内装とともに品揃えを一新していくということをやっております。

今回、（大型の）活性化を実施した22店舗の統計では、実施前が（売上の昨年比）101.8パーセントであったのに対して、実施後は110.8パーセントになっておりますので、プラス9.0ポイントほど押し上げる効果がありました。

WAON POINTの活用

WAON POINTの活用

- 16年10月より全店に専用端末を利用した、WAON POINTの来店ポイントサービスを開始。
- WAON POINTをメダルに交換することも可能に。
- 順調に増加し8月度は月間延べ100万人以上のお客さまがご利用。



こちらにも新しいお客さまに来ていただくという意味では、大きく貢献したと思っております。「WAON POINT」の活用でございます。昨年（2016年）の10月から始めております。

弊社の全店舗に専用端末を置いておりまして、お客さまが弊社店舗にいらっしゃると、とくにお買い物をしなくても、WAON POINT（カード）をスキャンするとルーレットが回せます。1日1回無料です。それで（ルーレットを回すと）1ポイントから20ポイントまでのWAON POINTが無料でもらえるという仕組みです。

これを利用されるお客さまがこちらの（左下の）グラフのとおり、どんどん増えています。もちろんもともと「モーリーファンタジー」に遊びに来てくれていたお客さまが、WAON POINTをスキャンしていただいているケースもありますが、そうではない無料のルーレットを目的に来ていただいているお客さまもおりますし、そのようなお客さまが、「じゃあ帰りに少し（「モーリーファンタジー」で）」遊んで行こうか」という流れも始まっております。

さらにポイントになっているのが、たまったWAON POINTで大変お得に弊社のメダルを購入できるというサービスをしております。このたまったWAON POINTというのは、ルーレットでためたWAON POINTだけではなくて、イオングループの各店舗でお買い物をしたたまったWAON POINTも使えます。

通常は500円ですと、メダルの貸し出しというのは80枚とか100枚なので、500WAON POINTで500枚遊べるという、平均して7~8倍お得な価格設定にしております。これが大変うけており、多くのお客さまにWAON POINTを使ってメダルゲームをしていただいているという効果を持っております。

今まで来なかったお客さまに毎日寄ってもらうきっかけになり、たまったWAON POINTでメダルゲームで遊んでもらうという、この（2つの）施策によって、集客と売上ともにしっかりと上がってきております。

新業態「にこはびきっず NHKキャラクターとあそぼう」

新業態「にこはびきっず NHKキャラクターとあそぼう」

- NHK Eテレの人気幼児番組をテーマとした、遊びと学びの『キッズエデュテイメント施設』を新規に開発。
- 2017年7月13日、東武百貨店池袋本店に初出店。連日幼児連れのファミリーで賑わう。



Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

23

トピックスにも挙げさせていただいた、新業態「にこはびきっず NHKキャラクターとあそぼう」でございます。こちらは実に、構想に3年かかりました。NHKさんと長い時間をかけて、どのようなかたちで、日本で初めてとなる常設の遊び場を一緒に作るかというお話をいたしまして、（2017年）7月に東武百貨店池袋本店にこのお店を出すことができました。

私どもの得意な時間制の遊戯施設をベースにしなが、ここでしか買えない人気キャラクターグッズのショップを併設し、私どもで運営させていただいております。大変な人気でございます。

海外事業の業績

海外事業の業績


- 中国は既存店伸び率が好調、営業利益も計画を上回り大幅増益。
- アセアンはマレーシアが好調に推移、タイも既存店伸び率が順調に回復。
インドネシアは第2四半期としては初めて営業利益の黒字化を達成。

<国別の業績>

(単位：百万円、%)

第2四半期 累計期間実績	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア	
	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期	2017 2月期	2018 2月期
既存 伸び率	+4.8	+10.3	+7.6	+12.8	△14.3	+17.1	△11.8	△1.6	—	△3.0
売上高	3,392	4,184	789	991	323	384	305	464	98	188
店舗利益	362	593	133	205	△39	△79	38	63	24	65
販管費	354	464	87	111	47	50	47	67	30	42
営業利益	7	128	45	93	△86	△130	△9	△4	△5	23

※中国は2018年5月に「営業現から繰越額」への移行がリービズ案に適用されました。これにより売上高は約6%減りますが、繰越以上の営業現等（費用計上）が増えるため利益に対してはプラス要因となります。この影響を考慮した実効的な既存伸び率は+12.0%となります。

 株式会社イオンファンタジー

24

続きまして、海外事業の業績でございます。こちらにあるとおり、各国ともに順調に伸びております。とくに中国やマレーシアでは、既存店の伸び率が10パーセントを超えまして、非常に売上規模も大きい中、まだまだ伸びる余地がある状況でございます。

タイに関しましても、依然として営業利益は1億3,000万円の赤字になっておりますが、既存店の伸び率は17.1パーセントと着実に上がってきておりますので、しっかりと回復させていける自信がございます。

インドネシアは、第2四半期累計期間としては初めて黒字化することができました。

中国事業における事業拡大

中国事業における事業拡大

■ 第2四半期累計期間に16店舗の新規出店。



25

中国事業でございますが、トータル176店舗となっております。

中国でeコマースによる物品販売を開始

中国でeコマースによる物品販売を開始

- アプリ会員システムの会員数は、8月末で110万人を突破。
- 7月より、eコマースによる物品販売を開始。



26

とくに中国においては、アプリ会員システムの会員数が、（2017年8月末で）110万人を突破いたしまして、これが大変大きな武器になっております。
7月より、この110万人のお客さまに目がけてeコマースを始めまして、我々のオリジナルグッズ等を中心に販売をスタートしております。

中国で3店舗の活性化を実施

中国で3店舗の活性化を実施

- 内装と遊具の品揃えを一新する大型の活性化を2店舗実施。
- 来店客層に合わせ、「キッズーナ」への業態変更を1店舗実施。



活性化実施店舗の 昨年比	
実施前	91.1%
↓	
実施後	134.4%
+43.3ポイントの 効果	

Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

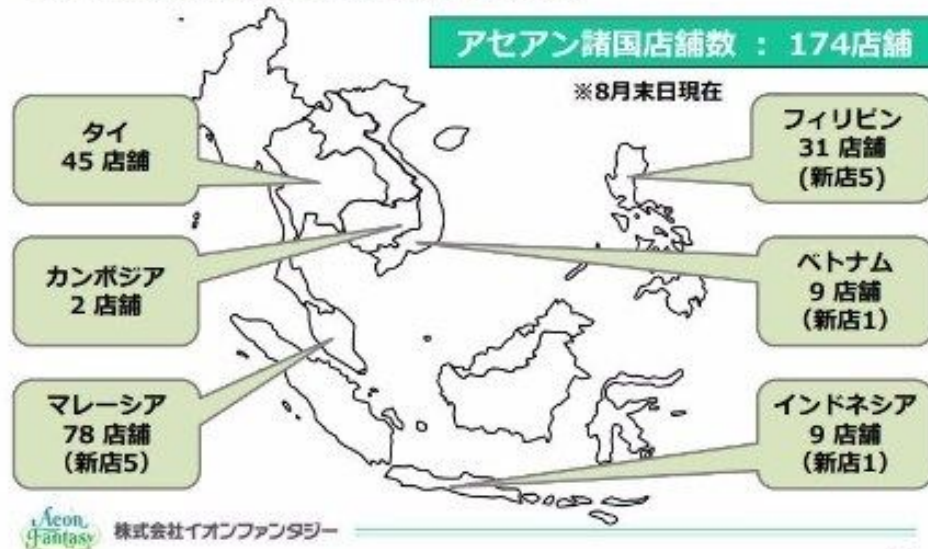
27

また中国でも、日本で実施しているような活性化をしっかりとっておりまして、活性化を実施したお店では大きく売上が伸びていっております。

アセアン諸国における事業拡大

アセアン諸国における事業拡大

■ 第2四半期累計期間に12店舗の新規出店。



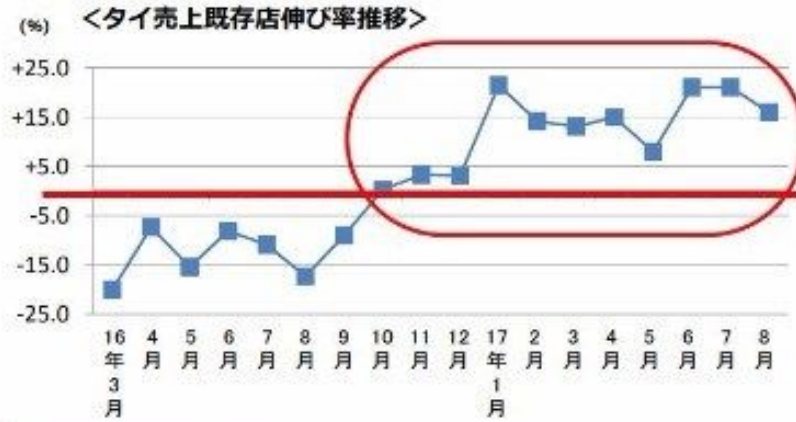
28

アセアン諸国においても、この半年間で12店舗出店いたしまして、174店舗になりました。

タイの既存店改善

タイの既存店改善

- 既存店の立て直しに注力し、遊具の改廃や店舗活性化により順調に改善。
- 昨年10月より11ヶ月連続で既存店伸び率がプラス。



先ほど申し上げたタイは、まだ赤字なのですが、去年からテコ入れをかなり一生懸命やっております、昨年（2016年）から11ヶ月連続で既存店伸び率がプラスになっております。


2018年2月期連結業績予想

2018年2月期の連結業績予想

(単位：百万円、%)

	2017/2期 実績	2018/2期 予想	前期比 (%)
売上高	65,058	70,000	+7.6
営業利益	3,769	5,000	+32.6
経常利益	3,498	4,550	+30.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,697	2,150	+26.6
1株当たり当期純利益	86.18円	109.10円	22.92円増
1株当たり配当金	31円	32円	+1円

※2017年9月28日に連結業績予想を修正しております。

 株式会社イオンファンタジー

31

2018年2月期の連結業績予想でございます。先日（2017年）9月28日に、連結業績予想を上方修正させていただきました。

売上高は700億円。営業利益は50億円。年間を通じても過去最高益を達成する予定でございます。経常利益は45億5,000万円。親会社株主に帰属する当期純利益は、21億5,000万円を予定しております。

セグメント別連結業績予想

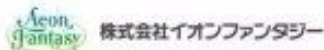
セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

	国内	海外		計	連結調整	連結計
		中国	アセアン			
売上高	57,100 (+4.6%)	9,000 (+25.4%)	4,400 (+32.3)	13,400 (+27.6%)	△500 (一)	70,000 (+7.6%)
営業利益	4,710 (+1,023)	300 (+101)	0 (+115)	300 (+217)	△10 (△10)	5,000 (+1,230)

- 年間出店数 国内 8店舗 海外 82店舗
- 既存店売上 国内 105% 海外 105%

売上高 () 内は前年同期比増減率
営業利益 () 内は前年同期増減額

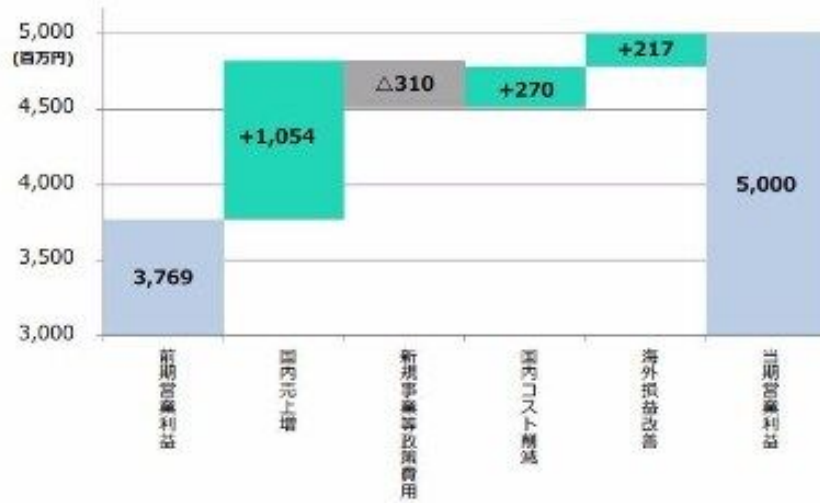


セグメント別の内訳が、こちらにございます。売上高は国内が571億円、海外が134億円。営業利益は国内が47億1,000万円、海外が3億円。海外の営業利益は去年が1億円弱でございましたので、今年は海外の営業利益が大きく伸び始める、利益貢献し始める最初の年になるのではないかと思います。

年間出店数は、国内8店舗・海外82店舗と若干下げさせていただきました。既存店売上は、国内105パーセント・海外105パーセントとしております。

営業利益増減要因

営業利益増減要因



こちらが、営業利益の増減要因でございます。50億円の（当期）営業利益をつくるための内訳でございます。以上でございます。